

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年6月18日(2015.6.18)

【公開番号】特開2014-168665(P2014-168665A)

【公開日】平成26年9月18日(2014.9.18)

【年通号数】公開・登録公報2014-050

【出願番号】特願2014-5254(P2014-5254)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 0 4 B

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月30日(2015.4.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者が操作可能な位置に第1操作手段及び第2操作手段を設けた遊技機であって、所定の条件が成立した場合に、前記操作手段を検査する検査モードを開始させる検査モード開始手段と、

遊技の進行に応じて発光する装飾用発光体と、

前記装飾用発光体を制御する発光制御手段と、を備え、

前記発光制御手段は、前記検査モードにおいて、前記第1操作手段が操作された場合に、第1報知態様となるように前記装飾用発光体を制御し、前記第1操作手段の操作中に前記第2操作手段が操作された場合に、前記第1報知態様とは異なる第2報知態様となるように前記装飾用発光体を制御することを特徴とする遊技機。

【請求項2】

遊技者が操作可能な位置に操作手段が複数設けられた遊技機であって、所定の条件が成立した場合に、前記操作手段を検査する検査モードを開始させる検査モード開始手段と、

遊技の進行に応じて発光する装飾用発光体と、

前記装飾用発光体を制御する発光制御手段と、を備え、

前記発光制御手段は、前記検査モードにおいて、操作された操作手段に応じた報知態様となるように前記装飾用発光体を制御すると共に、前記操作手段の操作時間に関わらず、該報知態様による報知を所定時間継続させることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

第1発明は、遊技者が操作可能な位置に第1操作手段及び第2操作手段を設けた遊技機であって、所定の条件が成立した場合に、前記操作手段を検査する検査モードを開始させる検査モード開始手段と、遊技の進行に応じて発光する装飾用発光体と、前記装飾用発光

体を制御する発光制御手段と、を備え、前記発光制御手段は、前記検査モードにおいて、前記第1操作手段が操作された場合に、第1報知態様となるように前記装飾用発光体を制御し、前記第1操作手段の操作中に前記第2操作手段が操作された場合に、前記第1報知態様とは異なる第2報知態様となるように前記装飾用発光体を制御することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

第2発明は、遊技者が操作可能な位置に操作手段が複数設けられた遊技機であって、所定の条件が成立した場合に、前記操作手段を検査する検査モードを開始させる検査モード開始手段と、遊技の進行に応じて発光する装飾用発光体と、前記装飾用発光体を制御する発光制御手段と、を備え、前記発光制御手段は、前記検査モードにおいて、操作された操作手段に応じた報知態様となるように前記装飾用発光体を制御すると共に、前記操作手段の操作時間に関わらず、該報知態様による報知を所定時間継続させることを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

第1実施形態の遊技機は、遊技者が操作可能な位置に第1操作手段及び第2操作手段を設けた遊技機であって、所定の条件が成立した場合に、前記操作手段を検査する検査モードを開始させる検査モード開始手段と、遊技の進行に応じて発光する装飾用発光体と、前記装飾用発光体を制御する発光制御手段と、を備え、前記発光制御手段は、前記検査モードにおいて、前記第1操作手段が操作された場合に、第1報知態様となるように前記装飾用発光体を制御し、前記第1操作手段の操作中に前記第2操作手段が操作された場合に、前記第1報知態様とは異なる第2報知態様となるように前記装飾用発光体を制御する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本実施形態では、遊技者が操作可能な位置に演出ボタンや方向キー等の操作手段が設けられており、これらについて検査する検査モードがある。検査モードは、例えば、電源投入時に検査モード開始手段によって開始される。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

装飾発光体は、検査モードにおいて、操作された操作手段に応じて異なる態様になる。これにより、検査者は、操作した操作手段の数に相当する種類の態様をチェックすることで、各操作手段が正常に動作しているか否かを簡単かつ確実に確認することができる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

発光制御手段は、例えば、装飾発光体の制御基板や制御プログラムであり、装飾発光体の点灯、点滅やこれらを組合せた発光パターンを制御する。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

検査モードにおいて、発光制御手段が装飾発光体を制御することにより、操作された操作手段に応じた態様が出力される。これにより、操作手段が複数ある場合にも、既存の部品を利用して、簡単かつ確実にその動作確認を行うことができる。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

そして、操作手段（第1操作手段）の操作中に、その操作手段とは別の操作手段（第2操作手段）が操作される場合があるが、発光制御手段は、装飾発光体を、第1操作手段が操作された場合とは異なる態様に切替える。これにより、検査者は、次々に操作手段を操作しても、各操作手段に応じた態様を確認することができ、迅速な検査が可能となる。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

第2実施形態の遊技機は、遊技者が操作可能な位置に操作手段が複数設けられた遊技機であって、所定の条件が成立した場合に、前記操作手段を検査する検査モードを開始させる検査モード開始手段と、遊技の進行に応じて発光する装飾用発光体と、前記装飾用発光体を制御する発光制御手段と、を備え、前記発光制御手段は、前記検査モードにおいて、操作された操作手段に応じた報知態様となるように前記装飾用発光体を制御すると共に、前記操作手段の操作時間に関わらず、該報知態様による報知を所定時間継続させる。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

本実施形態では、発光制御手段は、操作手段の操作時間に関わらず、装飾用発光体を所定時間（例えば、2秒間）継続させる。操作手段を一瞬しか操作しなかった場合にも、装飾用発光体が所定時間は発光するので、検査者は確実に発光態様を確認することができる。